

国道249号中屋<sup>なかや</sup>トンネル付近  
工事現場における作業員の被災事案を踏まえた  
再発防止策について

令和6年能登半島地震に伴う大規模被災により、国土交通省が災害復旧を代行する国道249号中屋トンネル付近の工事現場において、9月21日に大雨による土砂流入が発生し、作業員が被災しました。

今回事案の原因究明を進めるとともに、有識者の意見をききながら、再発防止を検討し、取りまとめましたのでお知らせします。

(再発防止策の主なポイント)

1. 気象情報等を踏まえた作業継続・中止判断の適切な実施

- ・工事実施前に、当日の降雨実績の確認だけではなく、入手可能な気象予測および気象情報を広域的に確認した上で、当日の作業開始・中止の判断をする。
- ・工事実施中においても、例えば降雨が一定の割合に達した時点など、必要な場合は工事を一旦中止し、警報発令状況や雨量予測等を踏まえ、作業継続・中止の判断をする。

2. 作業実施中の安全確保

- ・直近の被災履歴や現場特性等を把握した上で、局所的な大雨によるリスク等を踏まえ、あらかじめ安全な避難経路等の設定や斜面監視体制の確保など必要な対策をする。
- ・万が一、現場条件により安全な避難経路等の設定が困難な場合や、急激な悪天候など監視機能の維持が困難となるような場合は、早い段階での作業中止の判断を検討する。

3. 緊急時の迅速な退避のための対応

- ・複数の通信・連絡確認手段を組み合わせ、作業関係者全員へ確実に伝達を行うことを基本としつつ、それが困難な場合は、気象予報等を踏まえて、早い段階での作業中止の判断を検討する。

■添付資料

【別添1】国道249号中屋トンネル付近工事現場における作業員の被災事案を踏まえた「再発防止策」

【別添2】国道249号中屋トンネル付近工事現場における作業員の被災事案について「参考資料」

【問い合わせ先】 国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路情報管理官 <sup>とくはしよしゆき</sup> 徳橋 良幸

住所 新潟県新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 電話番号025-280-8880（代表）